

# 目次

献辞

## 論 説

- 可罰的責任論の構造……………大山 弘 (一)
- 非死刑事件における罪刑均衡原則について～再論～  
——Ewing v. California 事件判決を素材に……………門田 成人 (1)
- アメリカ共犯理論の諸相  
——派生的責任をその視座として……………坂本 学史 (三)
- 家庭内暴力から子殺しへ  
——刑事判例に見る家庭の崩壊……………大島 俊之 (39)
- 連邦行政手続法等における行政行為の取消……………乙部 哲郎 (一七)
- 憲法「改正」論の本質  
——集团的自衛権行使「合憲化」を求める財界の動向を中心に……………上 脇 博之 (一七)
- 射倅契約におけるコースの法理……………西原 慎治 (三三)

〈最終講義〉

法と生命倫理

——最近の動きから——

.....石原

明 (二七九)

石原明教授略歴

石原明教授著作目録